

「授業改善のための学生アンケート」2018年度前期 顕彰授業における工夫

2018年11月6日

白百合女子大学FD推進委員会

2018年度前期「授業改善のための学生アンケート」の顕彰授業における工夫をご紹介します。授業のあり方は授業の数だけありますが、顕彰された授業における工夫を知ることにより、よりよい学びのためのヒントが得られる機会になればと願っています。

【参考】 顕彰の対象となったアンケート項目は以下の9項目です。


- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できましたか。
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

少人数部門

「ホスピタリティマネジメント演習」 島田 由香（英語英文学科） 2018木2前

工夫した点

- ・教員の説明を、口頭と同時に配布プリント、板書で、耳と目から学んでもらえるようにした。
- ・一方通行の授業にならないよう学生に答えを促し、プレゼンテーションを行うなど双方向のコミュニケーションをとることを心がけた。
- ・授業の最後に、次回授業の目標を伝え、各自が目標を自覚し予習、授業までの一週間、目標を意識するように心がけた。
- ・授業以外に昼休みに自主ワークショップを行い、TAの協力を得て、少人数で英語のインタビュー練習を行い、学生の能力の定着を心がけた。
- ・少人数クラスだったので、常に学生とコミュニケーションをとることを心がけ、ひとりひとりの反応を大切にすることを心がけた。



多人数部門

「絵本演習Ⅰ／絵本演習」 やた みほ（人間総合学部児童文化学科） 2018 金 2 前

※「絵本演習Ⅰ」は人間総合学部児童文化学科の前期科目、

「絵本演習」は文学部児童文化学科児童文学・文化専攻の通年科目で共通開講しています。

「絵本演習」は半期で2つの課題を設けています。1つ目のコラージュ絵本は、レオ・レオニの『スイミー』エリック・カールの『はらぺこあおむし』のいずれかを模写するという課題です。絵本をよく見て「これは何を使って描かれているか」「どうしたらこのような色彩になるか」を考え、絵の具で色紙を作ったり、消しゴムはんこを作ったり、材料をそろえることから始めます。絵本の世界を崩さない程度にアレンジすることが可能なためオリジナル感も出せるので、完成した時は各々満足した様子でした。グループでコミュニケーションをとりつつ苦手なところを補いながら進められたところも目標達成につながったのではないかと思います。

2つ目の課題は「布絵本」です。対象年齢、手法が異なる3パターンの布絵本をあげ、好きな種類の絵本を作ってもらいます。全て布で作る「乳幼児向け布絵本」は裁縫が好きな学生に、絵と布をコラージュする「混合型絵本」はストーリー作りが好きな学生に、じっくり1つの絵を手芸材料で作る「アート型絵本」は絵が得意な学生にといった具合にジャンル分けをしました。授業では様々な布絵本を見せると同時に、材料についても解説しました。ボタン、ファスナー、面ファスナーなど手芸材料とその効果を紹介することでイメージが膨らみ、表現の幅が広がったのではないかと考えています。

この「絵本演習」は昨年度開講しました。他大学にはない白百合オリジナルの授業で社会人になっても役立つ内容にしたいと考えて授業を組みましたが、昨年度は追いつけない学生が多く課題が残りました。学生の反応を見ながら1回1回授業を振り返り、ペース配分を考えて進めることで今年度は少し改善されたのではないかと考えています。

